

生誕  
120年

# 向井潤吉の歩みと作品

向井が愛した家具とともに



館内風景(撮影:上野則宏)



2021 10.16 sat - 2022 3.13 sun



世田谷美術館分館

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1  
TEL.03-5450-9581  
<http://www.mukajunkichi-annex.jp/>

2018年度展示風景(撮影:上野則宏)



開館時間 | 10:00~18:00(最終入館は17:30まで) 休館日 | 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館) 1月10日(月・祝)は開館、1月11日(火)は休館、  
年末年始(12月29日~1月3日) 観覧料 | 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円) \*障害者の方は100円(80円)、ただし小・中・高・  
大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。\*( )内は20名以上の団体料金 \*小・中学生は土、日、祝・休日は無料

生誕120年

# 向井潤吉の歩みと作品

向井が愛した家具とともに



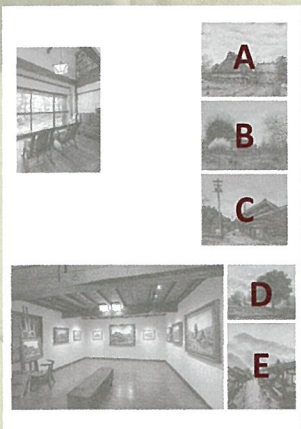
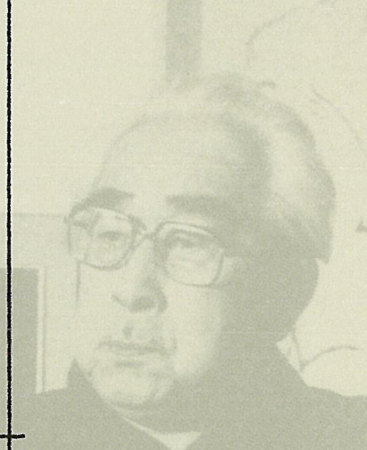
2021年に生誕120年を迎える向井潤吉(1901-1995)。今年度の向井潤吉アトリエ館では、明治から平成の時代を生きた向井の人生の歩みと80年におよぶ画業を、初期から晩年の作品で辿ります。第1期(4月1日～9月26日)と第2期(10月16日～2022年3月13日)で、それぞれ異なる作品によって構成し、より多くの向井作品をお楽しみいただけるようにいたしました。

若き日のパリ留学、戦争の時代を経て、戦後、草屋根民家のシリーズへとつながる向井潤吉の

創作の軌跡をご覧ください。

また、本展では、生前に向井が愛用した家具や調度品を特集します。椅子や電気シェードは世田谷の木工作家・林二郎や鳥取の民藝運動家・吉田璋也などが手がけたもので、現在もアトリエ館の館内に味わい深い彩りを添えています。ご来館の皆様にも、椅子には実際に手に触れ、お座りいただけます。

画家のくらしの息づかいをそのままに伝える展示空間をぜひお楽しみください。



## A 《湖東の家》

【滋賀県愛知郡湖東町】  
1989年

向井は現地制作を信条とし、終生貫いた。向井が肌身に感じたであろう、春の日差しのぬくもりが伝わる最晩年の作品。

## B 《春叢》

【埼玉県東松山市神戸】  
1988年

晩年の大作。埼玉は向井の最も身近な取材地だった。武蔵野の面影が色濃くのこの風景を好んで描いた。

## C 《冬ざれ》

【愛知県豊川市御油町】  
1946～1957年頃

戦後間もない時期の作品。かつての東海道宿場町を訪れた向井の目は、素朴な生活感が漂う市井の光景をとらえた。

## D 《コロアを摸して》1933年

若き日の向井が、敬愛した19世紀フランスの風景画家・コロアの作風を摸して描いた作品。

## E 《微雨》

【長野県木曾郡南木曾町妻籠】  
1974年

雨の木曾路を描いた作品。昔ながらの宿場の風情を今もつたえる妻籠に、向井も幾度か訪ねた。

2022年カレンダー  
館内販売および通信販売



毎年ご好評いただいている向井潤吉カレンダー。月がわりで季節の作品がお楽しみいただけます。ミシン目で図版を切り離すと、額絵にして飾れます。

- A3サイズ 14枚綴り 1,870円(税込)
- 制作・発行:株式会社グリーンショップ

くわしくは、向井潤吉アトリエ館HPをご覧ください。

## 世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1  
TEL.03-5450-9581 <http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>  
[交通案内]

- ◎東急田園都市線「駒沢大学」駅西口より徒歩10分
- ◎東急世田谷線「松陰神社前」駅より徒歩17分
- ◎東急バス(渋05)渋谷駅～弦巻営業所「駒沢中学校」下車徒歩3分



©宮本和哉

### 世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083  
東京都世田谷区奥沢5-38-13  
TEL.03-5483-3836  
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>



©宮本和哉

宮本三郎、画家としてII 混沌を貫け、花開く 絵筆 1950s-1970s  
10月16日(土)～2022年3月13日(日)

### 世田谷美術館分館 清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066  
東京都世田谷区成城2-22-17  
TEL.03-3416-1202  
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>



©宮本和哉

清川泰次 水のある風景と昭和の人々  
10月16日(土)～2022年3月13日(日)



### 世田谷美術館

〒157-0075  
東京都世田谷区砧公園1-2  
TEL.03-3415-6011(代表)  
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

[展覧会のご案内]  
TEL.050-5541-8600(ハローダイヤル)

同時開催展

#### 企画展

※企画展は日時指定予約制です

#### ミュージアムコレクション

塔本シスコ展 シスコ・パラダイス かずにはいられない! 人生絵日記 9月4日(土)～11月7日(日)

生誕160年記念 グランマ・モーゼス展 — 素敵な100年人生 11月20日(土)～2022年2月27日(日)

それぞれのふたり ミュージアムコレクションII 大沢昌助と建昌覚造 9月11日(土)～11月21日(日)

ミュージアムコレクションIII 美術と音楽 12月4日(土)～2022年4月10日(日)

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び抑制のため、ご入館に際し、マスクの着用、検温のご協力をお願いしております。混雑時は入場制限をさせていただきます場合がございます。

※ 展覧会の会期等が、急遽変更や中止となる場合がございます。最新情報は、当館ホームページ等でお知らせします。